

文章3：神への信仰や不信仰は，道徳の意義および人生の目的に関する疑問に対する取り組み方に影響を及ぼさない。

グループで，文章3の的確さについて話し合います。アルマ30：12-18を読み，コリホルの信条が彼の道徳観や人生の目的に対する視点にどのような影響を与えたか話し合います。それから，次の文章を読んでください。



信じるという行為は，見る人の心に生じるものです。救い主は周りの人々に，「聞く耳のある者は聞きなさい」と言われました（ルカ8：8）。…

リーハイの4人の息子は，同じ善い親から生まれました。信じる者たちの間に生じた違いは，彼らに起こった出来事ではなく，出来事に対する態度の違いでした。その態度は自分の心に端を発するもので，信じるかどうかは自ら自由に選ぶのです。…

…〔神〕は，わたしたちが進んで神を信じ，神を受け入れ，神を求めるとかをコントロールすることはできません。ただわたしたちに手を差し伸べ，もしわたしたちがその手を取ることを選ぶならば，わたしたち自身の成長に必要なものが何であろうと，わたしたちを導いてくださるのです。(Bruce C. Hafen and Marie K. Hafen, *Faith Is Not Blind* [2018], 81, 88)



力強く影響力のある社会の見解に，「道徳的相対主義」があります。絶対的な善悪はないという考え方です。この考えの裏には，神は存在しない，あるいは神が存在するとしても，今日のわたしたちに当てはまる戒めは与えておられない，という仮定があります。…

末日聖徒は明らかに，違った前提を起点としています。すなわち，永遠の律法の源である神がおられて，多くの選択の善悪を定める戒めを与えておられる，という前提です。わたしたちは道徳的相対主義に反対します。また，青少年がこの偽りの前提に基づいて論じ，結論を出すことによって，欺かれたり丸め込まれないように助けなければなりません。

真理かどうかの判断や，多種多様な提案が容認できるかを判断する際，起点となる前提をどこで探せばよいのでしょうか。わたしたちは神の言葉を自分自身のいかりとします。その言葉は聖文や現代の預言者の教えに含まれています。わたしたちの主要な前提であるこれらの真理にいかりをおろしていなければ，わたしたちの結論が間違いないことを確信することはできません。(Dallin H. Oaks, “As He Thinketh in His Heart” [evening with a General Authority, Feb. 8, 2013])

(注：前提とは，出発点，すなわち視点の土台です。仮定とは，あなたが真実だと推測するものの，真実ではないかもしれないものです。)

次の質問について話し合います：

- わたしたちの前提（出発点）は、なぜ疑問に対する答えにそれほど大きな違いを生むのでしょうか。
- 神を信じる信仰を根本的な前提として疑問について考えるとき、どのような違いが生じるのでしょうか。
- 神を信じることが選択の問題であることを理解することは、なぜ大切なのでしょうか。

この話し合いの中で学んだことに基づいて、文章3を修正したものを書き留めてください。修正した文章と学んだことをクラスで発表する準備をしておいてください。